第６次行財政改革大綱に基づく実施計画の進捗状況について

１．実施計画（第２版）について

（１）計画期間　　平成２８年度から平成３０年度まで

（２）項 目 数　　施策２３、細施策４６、取り組み（実施計画）７８

２．平成２８年度中間評価の状況

（１）実施期間　　平成２８年４月から平成２８年９月

（２）評価内容（詳細は、別添「第６次鳥取市行財政改革大綱実施計画評価シート」）

①評 価 方 法: 計画に対する各担当課の自己評価

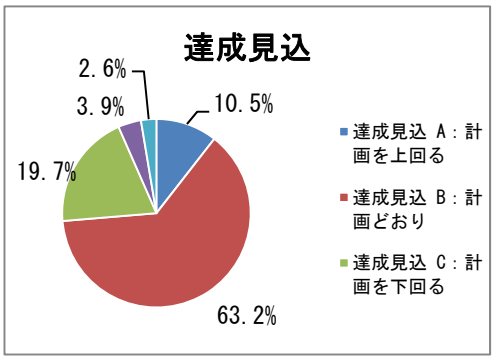
②評 価 対 象: ７６件（取り組み件数と評価件数の差異は、「ID17 市民の意見を反映する政策決定過程の再構築」を「ID16 広聴・広報の一体化」に、「ID40 固定資産台帳整備」を「ID39 固定資産台帳整備」にそれぞれ統合したことによるもの）

	達成見込　※割合は端数処理しています。					合計
	A：計画を上回る	B：計画どおり	C：計画を下回る	D：計画を大幅に下回る	E：検討の結果中止	
件数	８件	４８件	１５件	３件	２件	７６件
割合	１０．５％	６３．２％	１９．７％	３．９％	２．６％	１００％

（３）評価の概要

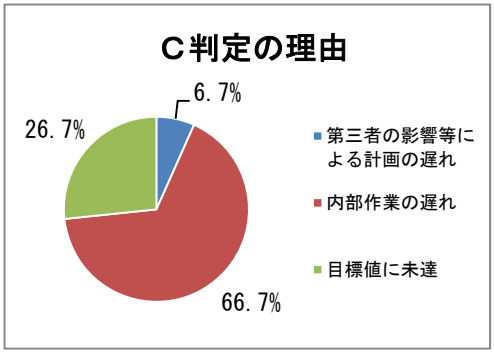
全体の達成度では「A：計画を上回る」および「B：計画どおり」が合わせて 73.7%となっており、これは前年度評価時点での 71.6%からやや上向いています。

また「C：計画を下回る」は 19.7%と中間評価の 24.3%から減少しています。



Ｃ判定の理由として最も多いのが「内部作業の遅れ」で 66.7%、次いで多いのが「目標値に未達」で 26.7%です。

前年度評価時点でＣ判定であった取り組みは１８件で、これらのうち６件は上半期で完了しており、残り１２件も下半期で概ね対応できるものと見込まれています。



Ｄ判定はグリーンカーテン実施事業、e モニター事業およびネーミングライツ適用範囲拡大の検討事業です。

グリーンカーテンは前年度から引き続き事業遅延が継続しています。e モニター事業は上半期に計画していた実施回数を大幅に下回ったことによる担当課評価、ネーミングライツはこれも前年度からの継続ですが、第二四半期より新たな事業検討のための情報集等を始めたところです。Ｅ判定の２件は若手職員による政策提案事業ですが、過去の成果検証等のため一時中断するものです。